



Voice Report



「SDG s」と「健康経営」、社員とその家族の健康が会社の発展に



代表取締役社長 小田柿 喜暢 氏

- 社名 **大洋産業株式会社**
- 代表取締役社長 小田柿 喜暢 氏
- 本社所在地 滋賀県彦根市芹川町528
- 主な事業内容 一般管工事業・一般機械器具製造業
- 従業員数 37名（男性：30名・女性：7名）
- **健康経営優良法人 2021 認定**

ワークライフバランス、働き方改革を進める中で社員の健康増進が重要と気づく

当社は少数精鋭のオーダー生産型の企業です。ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）で、社員が能力や個性を十分に発揮し、「仕事」も「生活」もともに充実していると実感できる環境づくりを進めています。特に、「子育てしやすい職場」、「男女がともに働きやすい職場」「地域の若者育成」などを3年計画を立案して具現化してきました。その中で、社員が心身ともに健康であるという基本条件が抜けていることに気づきました。

2019年「SDGs宣言」と同時に「健康経営」も一気に取り組みをはじめ

2019年「SDG s」に取り組むことにしました。その中の目標3では「すべての人に健康と福祉を」が掲げられています。この目標と「健康経営」が合致すると考え、すぐさま「健康宣言」を行い、「健康経営」に取り組むことにしました。



大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

まずは社員の心身の健康。そして社員自身が自立的に健康に留意することで、社員の家族の健康に対する意識も変化していくと考えます。会社は社員一人一人の力が合わさって強くなり継続していきます。そして、その社員を支える家族が健康であることが、「仕事」も「生活」も充実していると実感できると信じています。社員とその家族の健康が会社の持続的な発展に繋がります。

SDG s 「すべての人に健康と福祉を」

社員が普段の生活の中で健康を意識するようになれば、次は、積極的な健康増進に取り組んでいきたいと考えています。楽しい健康増進の取組み、定期的なメンタルチェックとフィードバックなどを取組み、SDG sの「あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」を実現します。

DEWX
大洋産業株式会社

まずは、社員が自らの健康に留意することからスタート

社内健康診断は100%の受診率を継続していますが、健康診断も当たり前になると、よほどのことが無い限り健診結果に基づく行動変容は困難なような気がします。そこで、社員が自らの健康に一層留意するようにと、健康診断時のオプション検査費用の一部を補助し、通常検査よりも多くの健康状態を知る機会を作るようにしました。同時に、検査結果で要検査等の結果が出た社員には、検査受診促進の通知を出すようにしました。



問合せ先・担当者



上：健康セミナー実施風景

左：少数精鋭の社員